

# ハンディターミナル 配送、容器交換 操作手引書

引取・取付別入力



**BT-500**

株式会社 アクセス

2005年	4月20日	第1版
2005年	5月3日	第2版
2006年	3月2日	第3版

――― はじめに ―――

この説明書は、容器の配送を行う方のためのものです。プログラムのインストール／アップデート、ホストコンピュータとの接続方法、充電器等周辺機器の取扱方法、内部データ形式については、記載されていません。参照したい方は、機器に添付の説明書を読むか、サポート担当者にご連絡下さい。

(株) アクセス      電話 045-320-1617      FAX 045-320-1618  
メール access@acclpg.co.jp  
HP <http://www.acclpg.co.jp>

# 目 次

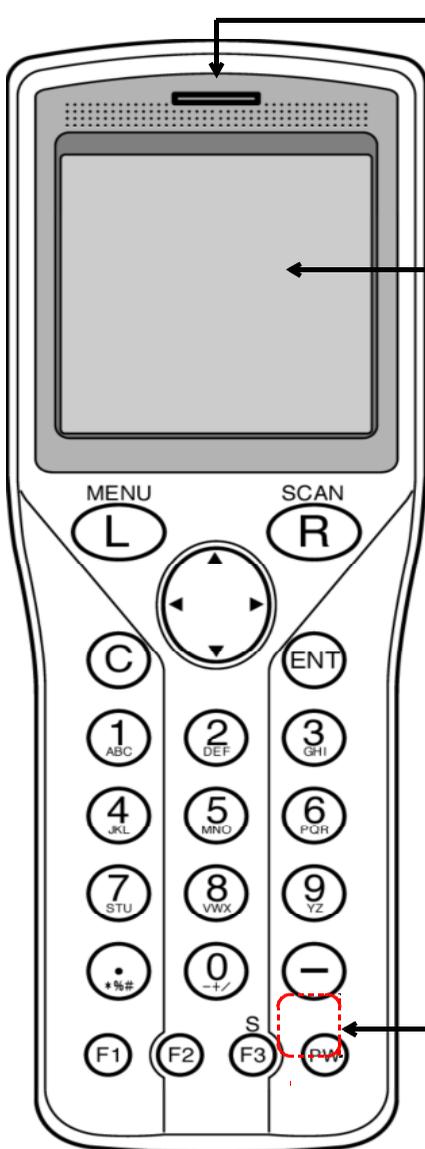
1. 初期画面
2. 容器交換データの入力
  2. 1 得意先コードの入力
  2. 2 入力項目の選択
  2. 3 交換時指針の入力
  2. 4 引取容器の入力
  2. 5 取付容器の入力
  2. 6 保安点検結果の入力
  2. 7 入力項目の確認
  2. 8 データの登録
3. ホストへ送信
4. ホストへ再送信
5. データの削除
6. 設 定
  6. 1 得意先ラベル情報設定
  6. 2 容器ラベル情報設定

# 目 次

- 6. 3 担当者コード設定
- 6. 4 保安点検の有無設定
- 6. 5 日付/時刻の変更
- 6. 6 バックライト
- 6. 5 バイブレーション

## 7. 初期設定

# 各部の説明



LED

バーコードを正常に読み取ると  
緑色に点灯します。

ディスプレイ

電源 S W



バーコード読み取り部

バーコード  
読み取りキー

# 1. 初期画面

[PW] (ハンディ右下のオレンジのボタン) を押すと、「初期画面」が表示されま  
す。

<b>配 送 入 力</b>		X050420
2005/04/22		
13:15		
担当 / 配送済 / 未送信		
1023	15	0

「初期画面」には下記の情報が表示されていま  
す。

- 1) バージョン
- 2) 現在の日付 / 時刻
- 3) 担当者コード
- 4) 配送入力済み件数
- 5) 未送信件数

この画面で表示されている日付が配送日と  
なりますので、必ず確認して下さい。  
日付の変更は「6. 5 日付 / 時刻」を参照  
して下さい。

ここで[ENT]を押すと、配送入力が始まり  
ます。

ここで[L]キーを押すと右図の「機能一覧」  
が表示され、下記の機能が選択できます。

機 能 一 覧	
1. 設 定	
2. 送 信	
3. 削 除	
4. 再送信	

1. 設定
  - 1) 得意先ラベル情報
  - 2) 容器ラベル情報
  - 3) 担当者コード
  - 4) 保安点検の有無
  - 5) 日付 / 時刻の変更
  - 6) バックライト
  - 7) バイブレーション
2. 配送結果の送信
3. データの削除
4. 配送結果の再送信

## 2. 容器交換データの入力

### 2.1 得意先コードの入力

配 送 入 力
得意先コード >>

[TRG]又は[R]キーを押して  
得意先バーコードラベルを読みとります。

ラベルがなければ、キー入力もできます。

[C]キーを長押しすると、「初期画面」に  
戻ります。

#### 注1) 指定の得意先が入力済みの場合

配 送 入 力
001023500
交換時指針： 235.6
引取 2本 取付 2本
不良箇所無し
削除? ( はい / いいえ )

右図の様に、配送情報が表示され  
この情報を取り消すか否かを指定できます。

「いいえ」が反転表示されている状態で  
[ENT]を押すと、得意先コード入力へ  
戻ります。

矢印キーで「はい」を反転させ[ENT]を  
押すと、配送データを取り消して得意先コー  
ド入力へ戻ります。

#### 注2) 指定の得意先が送信済みの場合

配 送 入 力
001023500
交換時指針： 235.6
引取 2本 取付 2本
不良箇所無し
送信済みです。

右図の様に、配送情報が表示され  
この情報が送信済みであることを知らせま  
す。送信済みのデータは削除できません。

[ENT]を押すと、得意先コード入力へ  
戻ります。

## 2.2 入力項目の選択

00123500

1. 指針入力
2. 引取容器入力
3. 取付容器入力
4. 保安点検入力
5. 入力終了

▲▼で項目を選択し（選択された項目は反転表示されます）[ENT]キーを押すか、対応する数字キーを押します。

「5. 入力終了」を選択すると、  
「2. 7 入力項目の確認」へ進みます。

[C]キーを長押しすると、入力はキャンセルされ、得意先コード入力へ戻ります。

## 2.3 交換時指針の入力

配 送 入 力	
001023500	
今回指針	316.5

今回指針を入力して[ENT]を押します。

## 2.4 引取容器の入力

配 送 入 力	
	001023500
引取容器	1 本
>>	
	2010001

入力した容器の本数と  
1つ前に入力した容器番号  
が表示されます。

バーコードで引取容器の容器番号を入力します。

バーコードの入力ができなければ、キー入力することもできます。

引取容器を全て入力したら、[ENT]のみを押します。

配 送 入 力	
	001023500
引取容器	2 本
確認? (はい/いいえ)	

入力された引取容器の本数を確認して、  
本数が正しければ「はい」を選択し  
「取付容器の入力」へ進みます。

「いいえ」を選択すると、引取容器の  
入力を初めからやり直せます。

### (注) 容器番号の重複

この容器番号は入力済みです。
<b>確認</b>

容器番号を重複して入力すると右図のメッセージが表示され、この容器番号は無視されます。[ENT]を押して正しい容器番号を入力して下さい。

## 2.5 取付容器の入力

配 送 入 力	
	001023500
取付容器	1 本
>>	
	2010121

入力した容器の本数と  
1つ前に入力した容器番号  
が表示されます。

バーコードで取付容器の容器番号を入力します。

バーコードの入力ができなければ、キー入力することもできます。

取付容器を全て入力したら、[ENT]のみを押します。

配 送 入 力	
	001023500
取付容器	2 本
確認? (はい/いいえ)	

入力された取付容器の本数を確認して、  
本数が正しければ「はい」を選択し  
「次回予定」へ進みます。

「いいえ」を選択すると、取付容器の  
入力を初めからやり直せます。

### (注) 容器番号の重複

この容器番号は入力済みです。
<b>確認</b>

容器番号を重複して入力すると右図のメッセージが表示され、この容器番号は無視されます。[ENT]を押して正しい容器番号を入力して下さい。

## 2.6 保安点検結果の入力

<b>配 送 入 力</b>	
001023500	
不良箇所番号 >>	<input type="text" value="0"/>
5	9

保安点検で不良の項目だけを、項目番号で入力して[ENT]を押します。入力した番号が画面に表示されます。

入力した番号を取り消す場合は、再度同じ番号を入力します。

番号を押さずに[ENT]のみを押せば終了します。

番号は、手書きの配送伝票の点検項目と同じです。

〔保安点検を行うには、「設定」－「保安点検の有無」で「点検する」を選択します。〕

## 2.7 入力項目の確認

<b>配 送 入 力</b>	
001023500	
交換時指針：	235.6
引取 2本	取付 2本
不良箇所無し	
確認？	( <input checked="" type="checkbox"/> はい / <input type="checkbox"/> いいえ )

「2.2 入力項目の選択」で「5. 入力終了」を選択すると、右図のように入力した情報が表示されます。

「はい」を選択し（「はい」が反転表示）[ENT]を押すと、この情報が登録されず。

矢印キーで「いいえ」を選択し（「いいえ」が反転表示）[ENT]を押すと、「2.2 入力項目の選択」へ戻り、値を修正することができます。

## 2.8 データの登録



データの録が終了すると、右図のメッセージが表示されます。  
[ENT]を押すと、得意先コード入力画面に戻ります。

このメッセージが表示されるまでは電源を切らないで下さい。

### 3. ホストへの送信

- ハンディの電源を入れ通信ボックスに正しく乗せます。
- ホストの受信プログラムを起動します。

<b>配送入力</b> X050420		
2005/04/22		
13:15		
担当 / 配送済 / 未送信		
1023	15	15

「初期画面」で[L]キーを押すと、「機能一覧」が表示されます。

----- 機能一覧	
1. 設定	
<b>2. 送信</b>	
3. 削除	
4. 再送信	
-----	

上下矢印キーで移動し、「2. 送信」が反転表示されたら、[ENT]を押します。

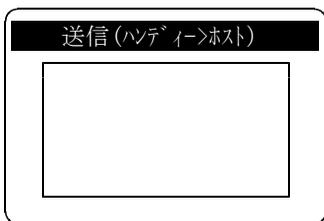
[C]キーを押すと、「初期画面」に戻ります。

<b>送信 (ハンディ→ホスト)</b>	
送信してよろしい ですか？	
はい	<b>いいえ</b>

送信の確認メッセージが表示されます。このまま[ENT]を押すと、「機能一覧」に戻ります。矢印キーで「はい」を選択し(はい) [ENT]を押すと送信を開始します。

<b>送信 (ハンディ→ホスト)</b>	
送信すべきデータ がありません。	
<b>確認</b>	

未送信データがない場合は、右図のメッセージが表示されます。[ENT]を押すと「機能一覧」に戻ります。



送信中に[C]キーを押すと、送信を中断します



送信が終了すると、右図のメッセージが表示されます。  
[ENT]を押すと「機能一覧」に戻ります。

## 4. ホストへの再送信

- ハンディの電源を入れ通信ボックスに正しく乗せます。
- ホストの受信プログラムを起動します。

<b>配送入力</b> X050420		
2005/04/22		
13:15		
担当 / 配送済 / 未送信		
1023	15	0

「初期画面」で[L]キーを押すと、「機能一覧」が表示されます。

<b>機能一覧</b>	
1. 設定	
2. 送信	
3. 削除	
<b>4. 再送信</b>	

上下矢印キーで移動し、「4. 再送信」が反転表示されたら、[ENT]を押します。

[C]キーを押すと、「初期画面」に戻ります。

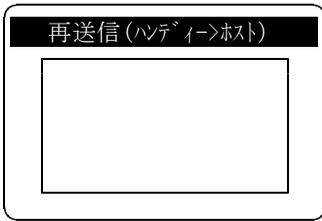
<b>再送信(ハンディ→ホスト)</b>	
再送信です。 よろしいですか？	
はい	<b>いいえ</b>

送信の確認メッセージが表示されます。このまま[ENT]を押すと、「機能一覧」に戻ります。矢印キーで「はい」を選択し、**はい** [ENT]を押すと再送信を開始します。

<b>再送信(ハンディ→ホスト)</b>	
送信すべきデータ がありません。	
<b>確認</b>	

配送済みデータがない場合は、右図のメッセージが表示されます。

[ENT]を押すと「機能一覧」に戻ります。



送信中に[C]キーを押すと、再送信を中断します。



再送信が終了すると、右図のメッセージが表示されます。  
[ENT]を押すと「機能一覧」に戻ります。

## 5. データの削除

入力済みのデータを削除します。実行すると、1件も配送していない状態になります。配送済みデータをホストに送信したあとに、実行して下さい。

もし、未送信のデータがあれば、その旨表示されます。

<b>配送入力</b>		X050420
2005/04/22		
13:15		
担当／配送済／未送信		
1023	15	0

「初期画面」で[L]キーを押すと、「機能一覧」が表示されます。

----- 機 能 一 覧 -----	
1. 設 定	
2. 送 信	
<b>3. 削 除</b>	
4. 再送信	
-----	

「機能一覧」で「3. 削除」を選択します。

上下矢印キーで移動し、「3. 削除」が反転表示されたら、[ENT]を押します。

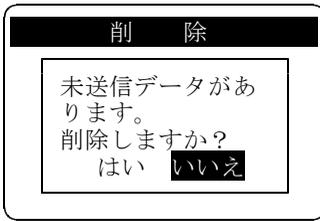
[C]キーを押すと、「初期画面」に戻ります

<b>削 除</b>	
削除してよろしい ですか？	
はい	<b>いいえ</b>

未送信データがない場合は、右図の削除の確認メッセージが表示されます。

このまま[ENT]を押すと、「機能一覧」に戻ります。

矢印キーで「はい」を選択し(はい)  
[ENT]を押すと削除を開始します。



未送信データがある場合は、右図の削除の確認メッセージが表示されます。このまま[ENT]を押すと、「機能一覧」に戻ります。矢印キーで「はい」を選択し(はい) [ENT]を押すと削除を開始します。



削除が終了すると、右図の完了メッセージが表示されます。このまま[ENT]を押すと、「機能一覧」に戻ります。

## 6. 設定

「機能一覧」の「設定」で下記の設定ができます。

- 1) 得意先ラベルの情報
- 2) 容器ラベルの情報
- 3) 担当者コード
- 4) 保安点検の有無
- 5) 日付／時刻

訂正  
訂正  
訂正

<b>配送入力</b>	X050420
	2005/04/22
	13:15
担当／配送済／未送信	
1023          15          0	

「初期画面」で[L]キーを押すと、「機能一覧」が表示されます。

機能一覧
<b>1. 設定</b>
2. 送信
3. 削除
4. 再送信
_____

「機能一覧」で「1. 設定」を選択します。

上下矢印キーで移動し、「1. 設定」が反転表示されたら、[ENT]を押します。

[C]キーを押すと、「初期画面」に戻ります。

各種設定
<b>1. 得意先ラベル</b>
2. 容器ラベル
3. 担当者コード
4. 保安点検の有無
5. 日付／時刻
_____

上下矢印キーで移動し[ENT]キーを押すと反転した設定ができます。

[C]キーを押すと、「機能一覧」に戻ります。

## 6. 1 得意先ラベル

得意先ラベルのバーコードの種別、有効桁数を設定します。  
一度設定すれば、変更がない限り設定する必要はありません。  
設定方法は、

### 各種設定

1. 得意先ラベル
2. 容器ラベル
3. 担当者コード
4. 保安点検の有無
5. 日付/時刻

「各種設定」で「1. 得意先ラベル」を選択します。

上下矢印キーで移動し、「1. 得意先ラベル」が反転表示されたら、[ENT]を押します。

[C]キーを押すと、「機能一覧」に戻ります。

### 得意先コードラベル

バーコード種類 >> 0  
1:CODE39 2:NW7 3:JAN  
コード桁数 >>

バーコード種類は1～3を入力し[ENT]を押します。コード桁数の入力へ移動します。  
[C]を押すと「各種設定」に戻ります。

コード桁数は1～10を入力し[ENT]を押します。下記の確認画面へ進みます。  
[C]を押すとバーコード種類の入力に戻ります

### 得意先コードラベル

バーコード種類 >> 1  
1:CODE39 2:NW7 3:JAN  
コード桁数 >> 9  
確認? (はい/いいえ)

「はい」を選択する（「はい」が反転表示された状態で[ENT]を押す）と指定の値が設定されます。

「いいえ」を選択する（印キーで「いいえ」を反転させ[ENT]を押す）と指定した値は無視されて「各種設定」に戻ります。

## 6. 2 容器ラベル

容器ラベルのバーコードの種別、有効桁数を設定します。  
一度設定すれば、変更がない限り設定する必要はありません。  
設定方法は、

各種設定	
1. 得意先ラベル	
2. 容器ラベル	
3. 担当者コード	
4. 保安点検の有無	
5. 日付/時刻	

「各種設定」で「2. 容器ラベル」を選択します。

上下矢印キーで移動し、「2. 容器ラベル」が反転表示されたら、[ENT]を押します。

[C]キーを押すと、「機能一覧」に戻ります。

容器コードラベル	
バーコード種類 >>	0
1:CODE39 2:NW7 3:JAN	
コード桁数 >>	

バーコード種類は1～3を入力し[ENT]を押します。コード桁数の入力へ移動します。  
[C]を押すと「各種設定」に戻ります。

コード桁数は1～10を入力し[ENT]を押します。下記の確認画面へ進みます。  
[C]を押すとバーコード種類の入力に戻ります

容器コードラベル	
バーコード種類 >>	2
1:CODE39 2:NW7 3:JAN	
コード桁数 >>	6
確認? (はい/いいえ)	

「はい」を選択する（「はい」が反転表示された状態で[ENT]を押す）と指定の値が設定されます。

「いいえ」を選択する（印キーで「いいえ」を反転させ[ENT]を押す）と指定した値は無視されて「各種設定」に戻ります。

## 6.3 担当者コード

担当者コードを設定します。  
一度設定すれば、変更がない限り設定する必要はありません。  
設定方法は、

各種設定	
1. 得意先ラベル	
2. 容器ラベル	
3. 担当者コード	
4. 保安点検の有無	
5. 日付/時刻	

「各種設定」で「3. 担当者コード」を選択します。  
上下矢印キーで移動し、「3. 担当者コード」が反転表示されたら、[ENT]を押します。

[C]キーを押すと、「機能一覧」に戻ります。

担当者コード登録	
担当者コード	
>>	■

4桁以内の数字を入力し[ENT]を押します。  
下記の確認画面へ進みます。  
[C]を押すと「各種設定」に戻ります。

担当者コード登録	
担当者コード	
>>1025	
確認? (	はい/いいえ)

「はい」を選択する（「はい」が反転表示された状態で[ENT]を押す）と指定の値が設定されます。

「いいえ」を選択する（印キーで「いいえ」を反転させ[ENT]を押す）と指定した値は無視されて「各種設定」に戻ります。

## 6. 4 保安点検の有無

保安点検の有無を設定します。  
一度設定すれば、変更がない限り設定する必要はありません。  
設定方法は、

各種設定
1. 得意先ラベル
2. 容器ラベル
3. 担当者コード
4. 保安点検の有無
5. 日付/時刻

「各種設定」で「4. 保安点検の有無」を選択します。

上下矢印キーで移動し、「4. 保安点検の有無」が反転表示されたら、[ENT]を押します。

[C]キーを押すと、「機能一覧」に戻ります。

保安点検の有無
点検の有無 >> 0
0 : 点検しない
1 : 点検する

0 または 1 を入力し [ENT] を押します。  
下記の確認画面へ進みます。

[C]を押すと「各種設定」に戻ります。

保安点検の有無
点検の有無 >> 1
0 : 点検しない
1 : 点検する
確認? ( はい / いいえ )

「はい」を選択する（「はい」が反転表示された状態で[ENT]を押す）と指定の値が設定されます。

「いいえ」を選択する（印キーで「いいえ」を反転させ[ENT]を押す）と指定した値は無視されて「各種設定」に戻ります。

## 6. 5 日付/時刻

現在の日付/時刻を設定します。  
「初期画面」に表示されている日付/時刻が誤っているときは、ここで修正します。  
設定方法は、

----- 各種設定 -----  
1. 得意先ラベル  
2. 容器ラベル  
3. 担当者コード  
4. 保安点検の有無  
5. 日付/時刻

「各種設定」で「5. 日付/時刻」を選択  
します。  
上下矢印キーで移動し、「5. 日付/時刻」が  
反転表示されたら、[ENT]を押します。

[C]キーを押すと、「機能一覧」に戻ります。

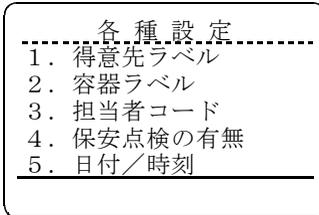
----- 日付/時刻設定 -----  
05年04月28日  
15時25分03秒  
-----  
ENT:決定 C:戻る

年、月、日、時間、分、秒と矢印キーで  
移動します。

[ENT]を押すと日付/時刻が変更され  
[C]を押すと設定は無視され「各種設定」に  
戻ります。

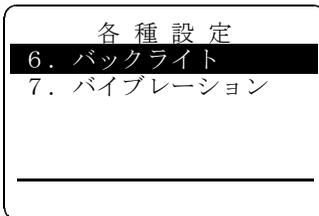
## 6. 6 バックライト

バックライトの輝度を設定します。  
輝度は消灯、暗い、明るいの設定ができます。（初期設定は消灯です）  
バッテリーまたは電池の消耗等を考慮して設定して下さい。  
設定方法は、



「各種設定」で左矢印キーを押すと、6以降項目が表示されます。

[C]キーを押すと、「機能一覧」に戻ります。



「6. バックライト」が反転表示されたら [ENT]を押します。

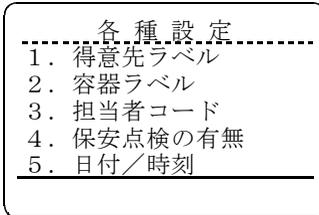
右矢印キーを押すと前の画面に戻ります。  
[C]キーを押すと、「機能一覧」に戻ります。



現在設定されている項目が反転表示されます。  
上下矢印キーで項目を移動し [ENT]キーを押すとバックライトの輝度を変更されます。  
次に変更するまで輝度は変わりません。

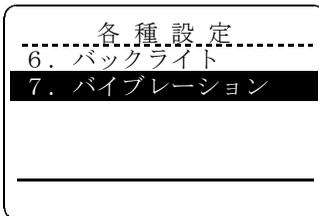
## 6.7 バイブレーション

バーコード読み取り時にバイブレーション機能を使用するか否かを設定  
設定できます。(初期設定は使用しないです)  
バッテリーまたは電池の消耗等を考慮して設定して下さい。  
設定方法は、



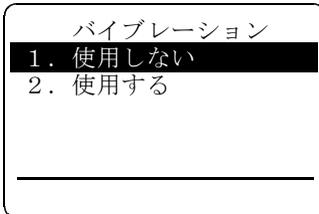
「各種設定」で左矢印キーを押すと、6以降  
項目が表示されます。

[C]キーを押すと、「機能一覧」に戻ります。



「6. バックライト」が反転表示されたら  
[ENT]を押します。

右矢印キーを押すと前の画面に戻ります。  
[C]キーを押すと、「機能一覧」に戻ります。



現在設定されている項目が反転表示されます。  
上下矢印キーで項目を移動し[ENT]キーを  
押すとバイブレーション機能を使用するか  
否かを指定できます。  
次に変更するまで設定は変わりません。

## 7. 初期設定

配送ハンディを使用する前に必ず下記の3項目を設定しておいて下さい。

- (1) 担当者コード  
6. 3 を参照
- (2) 得意先ラベル  
6. 1 を参照
- (3) 容器ラベル  
6. 2 を参照
- (4) 保安点検の有無  
6. 4 を参照

